

平成 29 年度第 3 回岩手県医療審議会医療計画部会議事録

日時：平成 29 年 11 月 7 日（火） 15：30～

場所：サンセール盛岡 3 階 鳳凰の間

〔出席者〕

別添出席者名簿のとおり

〔千田医療政策担当課長〕

ただいまから、平成29年度第3回岩手県医療審議会医療計画部会を開催します。

本日は、委員12名中11名が出席されており、「岩手県医療審議会部会設置運営要領」第5による定足数を満たしていることを報告します。

それでは、早速議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、小原部会長をお願いします。

〔小原部会長〕

早速議事に入らせていただきます。では議題の1「医療機能調査及び患者受療行動調査について」事務局からお願いします。

事務局から資料1・2により説明

〔小原部会長〕

只今の説明に対して、ご質問・ご意見等ありますでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

議題の2「医療計画作成指針等の一部改正について」をお願いします。

事務局から資料3-1・3-2により説明

〔小原部会長〕

只今の説明に対して、質問・意見等ありましたらお願いします。

それでは議題の3ですが、「次期医療計画（素案）について」をお願いします。

事務局から資料4-1～4-6により説明

〔小原部会長〕

「がん」につきましてはいかがでしょうか。初歩的なことですが、例えば「AYA世代」

とか「t-P A」とかありますが、計画は冊子にして県民に配布するのですか。

〔千田医療政策担当課長〕

全県民に配布するというではありませんが、何らかの形で公開して県民が見ることができる形にはしたいと考えています。

〔小原部会長〕

用語については、解説とか入れるのですか。

〔千田医療政策担当課長〕

現時点でまだ注釈まで整理できていませんが、現行計画と同じようにページの下の方に注釈をつけた形にしていきます。

〔小原部会長〕

「脳卒中」についてはいかがでしょうか。

〔遠藤専門委員〕

前回の会議でも申し上げましたが、資料4-1に「t-P A療法に対応できる体制整備の促進」ということが書いてありますが、血管内回収のことをぜひ入れてほしいと思います。学会として推奨もしていますし、次の5年間で国策として出てくるものと思いますので掲載をお願いしたいと思います。

〔小原部会長〕

今の遠藤委員の発言内容について事務局はチェックをしておいてください。

次の「心疾患」についてはどうでしょうか。

〔和田委員〕

脳卒中では、発症前の、発症が疑われる患者への対応について記載されているにも関わらず、心疾患は発症前の対応について記載がないというのはいかかなものかと思います。心疾患登録事業では発症前の状態についても登録してありますので考慮をお願いしたいと思います。

〔小原部会長〕

あとはいいですか。次は「糖尿病」についていかがでしょうか。歯科の関係ではいかがでしょうか。

〔佐藤委員〕

歯周病予防・治療に関する記載がありますが、昨年度までは歯周病が糖尿病の6番目の合併症という記載が多かったのですが、最近は合併症の記載が少なくなってきた気がしますが、再度素案の内容を確認させていただきたいと思います。

〔小原部会長〕

「精神疾患」について伴委員いかがでしょうか。

〔伴専門委員〕

「統合失調症などの多様な精神疾患」とありますが、「多様」という意味は、統合失調症、うつ病、神経症といった疾患の種類がいっぱいあるという意味で使っているのでしょうか。

〔小原部会長〕

つづきまして「認知症」につづきましていかがでしょうか。

〔伴専門委員〕

資料4-4の8ページに「認知症の医療・介護支援体制（イメージ図）」というのがありまして、右下のほうに「精神科医療機関等」とあって、左側のほうがおそらく認知症の初期か軽症の状態を表していると思いますが、これで見ると認知症サポート医やそういった方々が最初に軽症なり初期の例を扱って、異常行動等が出た場合に精神科医療機関が扱うみたいに見ええるのですけれども、現実的には認知症サポート医が関わる段階から精神科救急医療機関も関わっておりますので、この辺は文言を加えるとか考慮していただきたいと思います。

〔小原部会長〕

今日は時間の関係で説明がありませんでしたけれども、イメージ図についてもよく読んでいただいて、足りない部分などありましたら事務局に連絡をお願いしたいと思います。

「周産期」については、周産期の先生方から別途意見をいただきたいと思います。「小児医療」も別途検討されていますね。

「救急医療」はどうでしょうか。「災害医療」は。

時間があればイメージ図について事務局から説明しますか。

〔野原副部長兼医療政策室長〕

基本的には、現行計画の連携図に、国から新たに示された指針の要素を加えてバージョンアップしているものです。これまで計画部会でご審議いただいた内容も踏まえたものとしています。

〔小原部会長〕

県民の方々がこのイメージ図をうまく活用していただければよく理解できると思いますのであえて申し上げました。

次の議題の4ですが、「医療と介護の整合性の確保について」お願いします。

事務局から資料5により説明

〔小原部会長〕

おおよその考え方と具体的な進め方が示されております。何か意見・質問等ありますか。

〔佐藤委員〕

5疾病5事業及び在宅医療ということで計画が定められますが、今の資料5による説明が在宅医療に関する部分という理解でよろしいでしょうか。

〔千田医療政策担当課長〕

在宅医療等と言っていますが、そちらの「追加的な需要」と言われる部分になります。

〔佐藤委員〕

国の方に、市町村ごと、構想区域も含めての話でしょうが、県が国に見込み量を報告するというので、今後在宅医療で想定される量を報告するという話があるやに聞いていますが、そういうことは実際にあるのでしょうか。

10月～11月頃に各都道府県から見込み量が示されていくというスケジュールがあるようですが、その辺どうでしょうか。

もしそれがあるとすると、今後いつ頃部会で示されるのか併せて教えていただきたい。

〔佐々木主査〕

在宅医療のサービス量については、最終的には国に医療計画の成案の形で報告しますけれども、医療計画の中で、この6年間の計画で在宅医療の必要なサービスの見込みにつきまして、今説明した追加的な需要のことも踏まえてどのぐらいを設定するのかというのをまさに計画の中に盛り込むということにしておりまして、ただ今回の素案ではそこまでの案はご提示できませんでした。

現在、さきほどのような考えで市町村に、県としては1対3というものを基本に考えているけれども、介護施設・介護保険を所管する立場としてどうだろうかというのを投げかけています。併せてこのあと郡市医師会さんなどのご意見も聞いて、それらを集約した形で県の医療計画の中でサービスの量というものを設定していく。併せてそれに

あった形で介護保険のほうもそれぞれの保険者さんの計画で設定していくと、そのように進めてまいりたいと思っております。

スケジュール的なところについてもお尋ねがあったと思いますが、12月中にはおおむねのところをまとめたいと考えておりますので、1月に開催する計画部会でおそらくご報告できるのではないかと見込んでおります。

〔和田委員〕

スケジュールがとても過密で、盛岡医療圏では日程調整が難しくて集まれる人が限られている状態で、消化会議のような形になっていて意見を聞く場ではなくなっているような感じがあるのですが、他の医療圏では大丈夫なのでしょう。

〔千田医療政策担当課長〕

ほかの医療圏ではいつ協議の場を開くのかは調整中の段階です。確かにスケジュール的には過密になっていますけれども、12月までに介護保険のほうで数値を固めなければならぬというのがありますので、なんとか調整していただくしかないと考えています。

〔小原部会長〕

相当過密なスケジュールで委員の皆さんにはご負担をかけています。

次の「基準病床数の算定について」をお願いします。

事務局から資6-1・6-2により説明

〔小原部会長〕

質問・意見はありますか

〔松本委員〕

質問ですが、3ページの「可能性あり」ですが、釜石が102床、久慈が42床とあるが、同じ沿岸地区でも宮古や陸前高田は0床となっている。まだまだこれから可能性ありの病院が出てくるのではないかとも思われますがいかがでしょうか。

〔千田医療政策担当課長〕

この調査は、一番上のところにありますが、医療療養病床又は介護療養病床を持っている病院を対象に調査をしております、陸前高田市には対象になる病院がないということで0床となっています。釜石には対象になる病院があつて「可能性あり」という回答があつたということで、空欄になっているところが検討の結果今後出てくるというものではありません。

〔藤原委員〕

資料の6-1の1ページで案の1は291床、案の2は347床ということでした。3ページ目の参考のところでは案の1は291床とありまして、案の2は374床となっており、347床と374床は一致しないものなのかどうか

〔千田医療政策担当課長〕

誤記です。374床が正しい数字です。

〔小原部会長〕

現に療養病床を持っている医療機関がどのようにするかというのは悩ましい問題で、もう少し考えないとはっきりしたことは出てこないと思うのですが、一応はこの概算の数字ということだと思えるのですけれども、私個人としては「可能性あり」も含めて緩やかに考えた方がいいのかとも思いますが、きょう結論を出すわけではないではないですから。

次に議題の6ですが、「医療費適正化計画について」お願いします。

事務局から資7-1～7-3により説明

〔菅原委員〕

保険者協議会について、資料7-1の3ページの11番の項目にあります。10月に、国の方では、都道府県の保険マネジメントの強化ということで保険者協議会の位置づけが変わろうとしています。したがって、それに合わせた表現を考えていただきたいと思います。

現在の保険者協議会は国保連合会が事務局を行っておりますが、厚労省の考えでは来年度から県の保険マネジメントの強化ということで、基本的には県、または県と国保連とが一緒に推進していくということで、若干流れが変わっております。

〔梶田委員〕

資料7-1の1ページの1番は文言の整理ということですが、新聞にも取り上げられていましたけれども、医療費がかさむ原因の一つとして、女性がアトピーのヒルドイドローションを美容クリームとして使っているという報道もありました。現に、知り合いが子供と皮膚科に行ったとき、先生にアトピーの薬を2本から3本にしてほしいとお願いしたときに、先生から「使いすぎじゃない？お母さん使っていないよね？」と言われ、ちょっと悔しかったという話を聞きました。文言はあまり変わっていないですが、そういう方（医薬品を美容目的で使用している人？）たちにも、もうちょっと考えなければいけないという気持ちが起こるような文章を考えていただきたいと思いました。

〔畑澤委員〕

医薬品の適正使用の推進とありますけれども、重複投薬ですとか後発医薬品のことについては当然だとは思いますが、在宅における薬の飲み残しが全国で 500 億円分もあると言われることがあります。目標値をどう作るかというのはなかなか大変かもしれませんが、残薬の解消ということも入ってくればよろしいのではないかと思います。

〔松本委員〕

資料の 7-1 の 2 ページに本県の人口一人当たり医療費についての記載があります。後期高齢者の医療費は全国でも 1 番目か 2 番目に低いですが、その理由について分析していれば教えていただきたいと思います。健康で医者にもかからず医療費が低いのであればよいが、それ以外の理由で経済的な問題であるとか近くに病院がないとかいろんな原因があると思いますが、医療費の伸びを抑制するためには、後期高齢者の医療費の低い要因を分析する必要があると思います。その点についてよろしくお願いします。

〔野原副部長兼医療政策室長〕

医療費の高低については様々な要因があって、一概には言えないですけれども、例えば厚生労働白書では、例えば医師数ですとか病床数などの医療資源の量が医療費の高低とある程度関係があるのではないかとということが指摘されています。それから病院へのアクセスの問題も当然に影響があると考えられますし、そのほかにも県民の有病率や高齢化率といったものが関連すると考えられます。我々もすべての要素を分析するというのはなかなか難しい部分がありますが、本県の場合、医師不足であることも医療費が低いことに関係しているのではないかと考えております。

〔松本委員〕

医療費が低くなるのも結構ではありますが、やはり健康でそのうえで医療費が低いというのが理想ですので、そのために私どもも県と連携して健康経営を取り組んでいるところでもあります。もう少し踏み込んだ内容にしていいただければと思います。

〔小原部会長〕

全体を通して質問等あればお願いします。なければ進みます。「その他」をお願いします。

事務局から今後の進め方について説明

〔小原部会長〕

毎月一回のペースで開かれる予定のようですので、委員の皆様よろしく申し上げます。それでは事務局にお返しします。

〔千田医療政策担当課長〕

以上を持ちまして平成 29 年度第 3 回医療審議会計画部会を終了します。

平成29年度第3回岩手県医療審議会医療計画部会【出席者名簿】

区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
委 員	小 原 紀 彰	一般社団法人岩手県医師会	副会長	
委 員	梶 田 佐 知 子	岩手県地域婦人団体協議会	事務局長	
委 員	坂 田 清 美	岩手医科大学医学部 衛生学公衆衛生学講座	教 授	
委 員	佐 藤 保	一般社団法人岩手県歯科医師会	会 長	
委 員	菅 原 和 彦	岩手県国民健康保険団体連合会	専務理事	
委 員	畑 澤 博 巳	一般社団法人岩手県薬剤師会	会 長	
委 員	藤 原 敬	株式会社岩手日報社	常勤監査役	
委 員	松 本 光 一	全国健康保険協会岩手支部	支部長	
委 員	和 田 利 彦	一般社団法人盛岡市医師会	会 長	
専門委員	磯 崎 一 太	洋野町国民健康保険種市病院	院 長	欠席
専門委員	遠 藤 秀 彦	岩手県立中部病院	院 長	
専門委員	伴 亨	日本精神病院協会岩手県支部	支部長	

(区分ごとに五十音順)